

[高吐]dose-dense EC療法

外科
処方医:
適応症:乳癌
2週を1コースとして4コース繰り返す

Table with 16 columns (days) and 3 rows (Epirubicin, Endoxan, Gemtast). Shows treatment days with black dots.

身長: cm 体重: kg 体表面積 m^2

[投与スケジュール] (クール目)

心電図チェック(投与毎)

Day1(月 日)

Main treatment table with columns for Main Pipe (本管) and Side Pipe (側管), listing drug names and dosages.

DAY2(月 日)

Table for Day 2 treatment: Gemtast subcutaneous injection 3.6mg.

DAY2(月 日)~3(月 日)

Table for Day 2-3 treatment: Aprepitant capsules and Decadron tablets.

[DLF]
エンドキサン 骨髄抑制および出血性膀胱炎
エピルビシン 肝障害時用量調節
エンドキサン 腎障害時用量調節

[適正使用基準]

- 1. 出血性膀胱炎がない
2. ペントスタチンと併用していない
3. 重症感染症またはその疑いがない
4. アントサイクリン系の累積投与量に注意すること(総投与量が550mg/m^2以下である)
5. 心疾患の既往がない
6. 心機能の評価
①不整脈がなく、心電図も非特異的T波変化までである。
②心駆出率(ejection fraction;EF)が十分である(50%以上)
7. PS(Performance Status)が0~2である
8. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

Table for laboratory tests: Blood general check (WBC, Neut, PLT, HGB) and Serum biochemical check (GOT, GPT, Tbil, BUN, Cr).

[肝・腎機能を考慮した投与量の調節]

Table for Endoxan dosage adjustment based on TBil levels.

エンドキサン (今回の投与量) (累積投与量)

GOT	<60	60~180	180<	
投与量	100%	50%	25%	中止

	mg	mg
エピルビシン		
(今回の投与量) (累積投与量)		
	mg	mg

Ccr>50	Ccr10~50	Ccr<10
減量なし	25%減量	50%減量

エピルビシン

[白血球・好中球を考慮した投与量の調節]

WBC	3000 ≤	≤3900	≤2900
Neut	1500 ≤	≤1990	≤1490
EPI	<ul style="list-style-type: none"> 原則として100%を慎重投与 骨転移例75%に減量投与 (以下この量で継続) 		<ul style="list-style-type: none"> 1週間延期後、回復を確認後100%を慎重投与 (次回以降の投与は4週間毎) 2週間投与を延期して、回復しなかった場合は50~75%に減量して投与

[肝機能を考慮した投与量の調節]

TBil	<3.0	3.0~5.0	5.0<
GOT	<180	180<	
CPA	100%	75%	中止

[DLFを除く重大な副作用]

《エピルビシン》

- ・ショック【チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等】
- ・萎縮膀胱(膀胱内注入療法時)【下腹痛等】

《エンドキサン》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状【血圧低下・呼吸困難・喘鳴・蕁麻疹・不快感等】
- ・イレウス、胃腸出血【腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等】
- ・間質性肺炎、肺繊維症【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・心筋障害、心不全【胸痛・呼吸困難・むくみ等】
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症【紅斑・発熱・関節痛・下痢等】
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)【むくみ・痙攣・意識障害等】

[アントラサイクリン系抗腫瘍剤の換算表]

ドキシソルビシンDXR	X1.00(mg)
アクリルビシンACR	X0.27(mg)
タウノルビシンDNR	X0.56(mg)
ミトキサントロンMIT	X3.13(mg)
エピルビシンEPI	X0.56(mg)
ピラルビシンTHP	X0.40(mg)
イダルビシンIDR	不明